

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年11月27日～12月3日)

平成 26 年(2014 年)12 月 5 日

H E A D L I N E S

政治

首長選挙の決選投票にて最大野党「法と正義」(PiS)が敗北
 上院にて Manggha 館設立20周年記念展示のオープニング式典
 コパチ首相, キャメロン英国首相と電話会談
 安倍総理夫人のクラクフ訪問
 トゥスク前首相, 欧州理事会議長に就任
 コモロフスキ大統領, バルト三国大統領と会合
 コパチ首相, チェコを訪問
 スヘティナ外相, NATO外相会合等に出席
 コパチ首相, ヤツェニューク・ウクライナ首相との電話会談
 東部方面駐屯部隊の強化

経済

12月の政策金利は2.0%
 第3四半期の経済成長率は3.3%
 11月のPMIは53.2ポイント
 10月の輸出は4.7%増
 SEZへの投資総額は1,000億ズロチ
 アゾティ社の海外企業買収計画に関する噂
 コンパニア・ヴェングロヴァ社の次期CEO選出に向けた動向
 Gaz-System 社の新たなガス・パイプライン計画
 PGEがトゥルフ発電所建設を正式発注
 ポーランド人の多くが原子力を支持

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ
 領事アンケートへの御協力について
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
内 政

首長選挙の決選投票にて最大野党「法と正義」(PiS)が敗北【11月30日】

30日、首長選挙の決選投票が行われ、多くの主要都市において与党・市民プラットフォーム(PO)又は無所属の現職候補が再選し、最大野党「法と正義」(PiS)の多くの候補が落選した。首都ワルシャワでは、現職のグロンキエヴィチ=ヴァルツ候補(PO)が58.64%を得票し、41.36%のサシン候補(PiS)に勝利した。コパチPO党首(首相)は、出口調査結果発表後に、POは多くの主要都市で勝利した、明日からはポーランド人のための最大限の仕事が開始される旨述べた。カチンスキPiS党首は、PiSは大都市において40%の得票を実現するなど革新的な結果を残した将来に向けた(PiSの)可能性を示す結果である旨述べた。

上院にて Manggha 館設立20周年記念展示のオープニング式典【3日】

3日、上院にて、日本美術技術博物館(Manggha館)設立20周年記念展示「ポーランドと日本の間で—Manggha館20周年」のオープニング式典が開催され、山中大使、ボルセヴィチ上院議長、オミラノフスカ文化・国家遺産大臣、グレッツキ上院日・ポーランド友好議連会長、ジェフチャルク=マイ Manggha 館長をはじめとする約70名が出席しました。同式典にて、ボルセヴィチ上院議長は、日本はポーランドにて科学技術、美術、武道等の幅広い面で有名であり、日本文化はポーランド文化と異なるがポーランド人にとって近く感じるものである、Manggha 館がポーランドにあることを嬉しく思う旨述べました。

外交・安全保障

コパチ首相、キャメロン英国首相と電話会談【11月27日】

27日、コパチ首相はキャメロン英首相と電話会談を行い、英国におけるEU内の移民の自由を制限する方向の議論に関連する意見交換を行った。コパチ首相は、ポーランドはEU単一市場の原則、特に人の移動の自由を害する変更に同意しない、ポーランド移民は英国経済に前向きな影響を与えている旨述べた。キャメロン首相は、(現在英国内で計画されている)措置は全てのEU市民に平等に適用される旨述べた。

安倍総理夫人のクラクフ訪問【11月28(金)～11月29日(土)】

安倍昭恵内閣総理大臣夫人は、ポーランド政府からの招待に応じ、日本美術技術博物館の開館20周年式典出席のため、ポーランド・クラクフを訪問した。安倍総理夫人は、コモロフスキ大統領夫妻、ワレサ元大統領、オミラノフスカ文化大臣ほか政府要人と共に式典に出席し、挨拶を行った。クラクフで日本語教育の中心となっているヤギェロン大学、シエマハ協会(児童・青少年福祉団体)、ライフファーム(自閉症者支援施設・農園)を訪問したほか、日本語を学ぶ学生・生徒との懇談を行った。

トウスク前首相、欧州理事会議長に就任【1日】

1日、トウスク前首相は、ブリュッセルにて、ファン＝ロンパイ前欧州理事会議長からの引き継ぎを受け、欧州理事会議長に就任した。トウスク欧州理事会議長は、自分は強い使命感をもって就任した、この極めて困難な時期に欧州は成功を必要としている、欧

州にとっての成功とは、内外からの脅威に対して基本的価値、連帯、自由、結束を守ること、経済危機に終止符を打つべく毅然とした決意を持つこと、EUが国際的に強い存在になること、民主主義国家群の軸たるEU・米国関係を重視することである旨述べた。

コモロフスキ大統領、バルト三国大統領と会合【2日】

2日、コモロフスキ大統領は、訪問先のエストニアにて、エストニア、ラトビア、リトアニアの大統領と会合を行い、ウクライナ紛争を視野に入れた地域の安全保障、NATOウェールズ首脳会合の成果、交通・エネルギー分野における協力に関し意見交換した。同大統領は、共同記者会見にて、地域の安全保障に関し、本年9月のNATOウェールズ首脳会合で決定された内容は速やかに実施されなければならない旨述べた。

コパチ首相、チェコを訪問【2日】

2日、コパチ首相は、チェコを訪問し、ソボトカ・チェコ首相との間で、ウクライナ情勢、V4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)協力、エネルギー安全保障につき意見交換した。コパチ首相は、ポーランドとチェコは地域及びEU域内における重要なパートナーである旨述べると共に、12月9日にV4首脳会合を行いウクライナ支援に関する議論を行う予定を発表した。

スヘティナ外相、NATO外相会合等に参加【2日～3日】

2日～3日、スヘティナ外相は、ブリュッセルで開催されたNATO外相会合、NATO・ウクライナ委員会、イスラム国対策のための関連国会合等に出席した。NATO外相会合においては、ウクライナ危機及びNATO東方諸国の安全保障環境が主要テーマとなった。スヘティナ外相は、ポーランドは2016年のNATOワルシャワ首脳会合の前に(本年9月の)NATOウェールズ首脳会合の(NATO東方諸国の安全保障強化に関する)合意内容の実施プロセスを完了すべきと考えている旨述べた。

ライナ支援(の意向)を宣言した。ヤツェニューク首相は、ポーランドは欧州諸国の中でウクライナに最も近い友好国であったし、現在もそうである旨述べた。

コパチ首相、ヤツェニューク・ウクライナ首相との電話会談【3日】

東部方面駐屯部隊の強化【29日】

3日、コパチ首相はヤツェニューク・ウクライナ首相と電話会談を行い、新政権発足への祝意を表すると共に可能な限り早期に会談を行いたい意向を表明した。またコパチ首相は、ポーランドの更なる対ウク

シエモニヤク国防大臣が東部方面の指令官との会議において、設備及び装備を増強し東部方面の駐屯部隊を強化する旨発言した。これは、安全保障向上のための計画の一部であり、現在、ポーランド軍の約80%以上が国境の西側に配置されており、その中心を東側に移動させる。まだ詳細について話すには時期尚早だが、既存の設備を新しくし、装備を整え、部隊を近代化させる。これは、大変重要な決定であり、多くの資金が必要となるが、数年かけて東部方面の部隊へ確実に投資を行っていくと述べた。

経 済
経済・財政政策

12月の政策金利は2.0%【3日】

金融政策委員会(RPP)は、月例会合を開催し、基準金利を2.0%に据え置くことを決定した。RPPは、経済観測は上向いているものの、第3四半期で景気が底を打ったかどうか、第4四半期の経済成長につ

いては不透明であることから金利を維持したとの説明を行っている。なお、専門家の多くは、2015第1四半期中に更なる利下げが行われると予想している。

マクロ経済動向・統計

第3四半期の経済成長率は3.3%【28日】

中央統計局(GUS)によると、第3四半期のGDP成長率は、前年同期比で前期の同3.5%より減速した3.3%となっている。前期比では、第2四半期の0.7%より大きい0.9%の成長となっている。内訳は投資が前年同期比で9.9%成長しており、国内需要全体では4.9%の成長となっている。

価が出ており、輸出受注は4月以来7日カ月ぶりに増加に転じた。更に、雇用は16カ月連続で拡大しており、それに伴い消費も増加している。

11月のPMIは53.2ポイント【1日】

11月の購買担当者景況指数(PMI)は、10月の51.2ポイントより更に上昇した53.2ポイントとなっている。2010年以来初めてすべての項目で肯定評

10月の輸出は4.7%増【1日】

10月の輸出は、前年同月比4.7%増、前月比4.8%となる149億ユーロとなっている。ズロチ建てでは、前年同月比5.1%増、前月比5.2%増となる628.3億ズロチ。2014年通年では、前年比6.0%増の1,577億ユーロ若しくは同5.5%増の6,595億ズロチとの予想が出ている。

ポーランド産業動向

SEZへの投資総額は1,000億ズロチ【28日】

KPMGの報告書によれば、ポーランドのSEZへの2014年末までの20年間の投資は総額1,000億ズロチに上り、287,000人の雇用を生み出している。また、同報告書では、2014年の投資額は78億ズロチ以上となり、過去5年間で最大であることや、SEZで操業する各企業がビジネス環境に満足していることについても紹介している。

アゾティ社の海外企業買収計画に関する噂【2日】

アゾティ社はスロベニア、スペイン、チェコ及び米国の化学企業を中心に買収先を探している。2015年にも最初の買収が行われると言われている。欧州域内での取得手続の難しさ、また、現在シェールガスで活況している米国の方が現実的であると言われている。この他、チェコAgrofert社(欧州第5位、チェコ第2位の化学肥料メーカー)やスロベニ

アの Melamin 社(メラミン樹脂メーカー)の名前も取り上げられている。これらの噂に対し、アゾティ社は

コメントを断っている。

エネルギー・環境

コンパニア・ヴェングロヴァ社の次期CEO選出に向けた動向【1日】

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の監査役会は26日より新たなCEOの選定に向けた手続を開始した。申込の受付は12月11日までとなっており、12日に最初の面接が行われる。タラス前CEOの解任について、監査役会はリストラ策の効果が不十分だったことに加え、労働組合との対話の不十分であったと指摘している。一方の労働組合は、鉱山部門の大規模なコスト削減に関するタラス前CEOの発言を受け、同氏の解任を強く求めている。

新たなCEOについては、経済省の関係者(匿名)はKGHM社とポリシェフ社でCEOを務めたSedzikowski氏が関心を寄せており、現時点对立候補はいないと発言している。同氏について、管理部門での豊富な経験を踏まえ適任であるとアナリストは評価している。

Gaz-System社の新たなガス・パイプライン計画【1日】

Gaz-System社は、2014年から2023年にかけて、ポーランド西部、南部及び東部に2,000キロメートルの新たなガス・パイプライン建設を計画している。同社によれば、FS調査の準備も進めており、必要な資料は全て集まっているという。また、過去5年間で

45億ズロチを支出しており今後70億ズロチを支出する予定。同社は今後建設業者の仕事を見極めるといい、また、新事業はパイプラインが建設される地域の開発を助けると強調している。

PGEがトゥルフ発電所建設を正式発注【1日】

PGE社は、トゥルフでの450MW石炭火力発電建設を正式に発注した。総額40億円規模で2019年秋の完成を予定している。本プロジェクトは、三菱日立パワーシステムズ・ヨーロッパ社、Budimex社(ポーランド)及びTecnicas Reunidas社(スペイン)のコンソーシアムが落札している。

ポーランド人の多くが原子力を支持【3日】

国家原子力エネルギー庁は、原発の安全性等に関する調査結果を発表した。調査会社Homo Homini社により今年10月に実施されたもので、調査結果では、68.3%がポーランドの安全基準について他の国と同等若しくはそれ以上のものを有していると回答している。原発に対する恐れを10段階で評価したところ、約61%が5以下と評価した。なお、サンプルは全国民と原発建設予定地の住民のそれぞれから抽出されており、安全性に関する回答については、原発建設予定地の回答では他の国と同等若しくはそれ以上という回答は75.9%であった。

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ

12月3日から6日まで、当館にて第47回衆議院議員総選挙に伴う在外投票が行われています。詳しくは当館のホームページを御覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.deliver.mofa.go.jp/m?f=1114>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸

出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,
住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成 27 年 3 月 31 日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記 HP をご覧下さい。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】私の目で見えたポーランドの都市【10月～12月】

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見えたポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所: ヴロツワフ市, ul. Kielbasnicza 31

【開催中】「竹と漆」池田巖展【10月27日(月)～1月4日(日)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『竹と漆』池田巖展が開催中です。池田巖氏による竹と漆の素材の魅力をひきだした作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha マンガ, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/25>

【開催中】荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュックの写真展示会【11月7日(金)～12月14日(火)】

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催中です。

開催場所: ワルシャワ, ライカギャラリー, ul. Mysia 3

詳細: <http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日(日)～5月18日(月)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】クラクフ・フェンシング・剣道部古流館道場設立35周年記念【12月5日(金)～12月7日(日)】

クラクフにて、『クラクフ・フェンシング・剣道部古流館道場設立35周年記念』が開催されます。剣道・居合道のデモンストレーションと茶会が予定されます。

開催場所: クラクフ, Hala AWF, al. Jana Pawla II

詳細: <http://www.kks.krakow.pl/d/start>

【予定】第8回武道ガラ「ココロカップ2014」【12月6日(土)】

ワルシャワにて、ビエラニ極真空手クラブ主催による『第8回武道ガラ「ココロカップ2014」』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, Hala sportowa, ul. Staffa 3/5

詳細: <http://kokorocup.pl/>

【予定】水曜映画上映会「大阪ハムレット」【12月10日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「大阪ハムレット」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@emb-japan.pl,
住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)